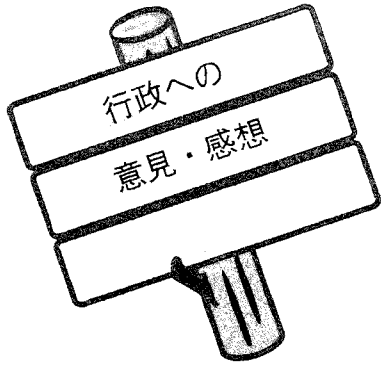


環境美化協力員「なまの声」

「そのままでもいいはずがない」

今回のごみ焼却調査を実施していただいた、環境美化協力員の皆さんに、調査にあたってみての意見や感想を書いていただきました。その一部を紹介いたしますので、これから家庭や地域で環境対策を講じる上での参考にしてください。



スーパーの買い物袋をゴミ袋の袋をゴミとして捨てることでスーパーで、その点「一考していただきたい。その際スーパー側に袋の要望を市役所から指導する必要がある。数年前ゴミの減量で商店に過剰包装の自粛をしたが、現在の消費拡大を美徳とする経済事情が心配される。

燃やしているゴミは、すべて紙類です。燃えるゴミは火、木、土、と決まっているが、祝日にその日があたってしまうと、ゴミが溜まってしまいますので、祝日は休まないで運行してほしい。

菅野川下流右岸河川敷き(雪捨て場)に会社や商店に荷下ろしをした各種車両の乗務員が昼食、休憩をして、空き缶、空ビン、紙くずなどを不法投棄して困るので、投棄禁止の立て看板の設置をお願いします。川岸には「川をきれいに」の看板があります。

処理方法だけを考えるのではなく特に塩ビ系のものについて製造販売の規制も検討する時期が来ているのでは。

川の周辺でゴミを燃やしてその灰を川へ流しています。近所の事なので注意することもできません。燃やしている家に役所から聞きましした公害の話もしましたら、現在は燃やしていません。役員さんは毎年変わるの、役所側も一回は会合を持ってもらいたい。

環境ホルモンが問題になって以来、ゴミへの関心が強く、家庭で燃やすゴミも減少しているものの、まだまだ理解出来ていない点も多くあるようです。行政での指導はもとより、個人の協力が必要ではないでしょうか。

ゴミを減らすために燃やしていると思いますが、ダイオキシンなど、環境問題に対する意識が低いと思われれます。積極的に勉強会などを開催し、市民レベルで理解を深めていけたらよいと思います。

物を大切にしない人たちが増えてるようになってきました。資源ゴミの収集日を月一回ではなく二回くらいに増やすのもよいと思います。

ダイオキシンの猛毒について知識を市民に周知してほしい。
▼河川(上流から)に焼却ゴミ(灰)、ビニール類、トレイなど捨てることのないよう、市からの指導を望みます。
▼富士吉田市の一部住民により、川沿いのゴミ焼却ドラム缶が撤去されたが(新聞・報道)市の職員による強制撤去の計画はあるのでしょうか? 検討してもよいのではないかと思うが・・・。

私の家の周りは学生のアパートが多いため、どうしても学生が生ゴミの中にジュースの缶を一緒に入れて出す人が多く、注意をするのですが聞き入れてもらえません。



プラスチック系のごみを燃やすと、ススが洗濯物について困ります。
道徳心のない人がたくさんいます。犬のフンを川へ捨てたり、近所の人を燃えかすを川へ捨てたのを一度だけ見たのですが面と向かっていえませんでした。